

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年5月10日のビデオメッセージ（要約）>

日本には美しい城がたくさんあります。城は、日本でも海外でも、敵から防御するための共通の構造があります。堀、城壁、見張りの塔、強固な門などです。もし、敵がそれらの構造を乗り越えて来たとしても、王と家臣たちには最後に逃れる場所があります。それが逃れの塔であり、日本では天守閣と呼ばれます。最も内陣にある塔は、金庫のように安全で、敵の手が届きにくい場所です。いま、この時代を生きる私たちにも、逃れの塔が必要です。多くの方がコロナ禍の中で困難を経験しており、家族を感染症で亡くしても看取ることができない人たちの悲しみは、想像もできません。しかし良い知らせがあります。「ユダの手紙」という短い書簡の中で、私たちのための逃れの塔を示されています。ユダの手紙 24-25 節をぜひお読みください。この手紙の言葉は、教会の礼拝で祝祷として用いられます。しかし、礼拝の終わりに唱えるだけでなく、きょう私たちが逃れることができる霊的な塔を示しています。それは、生ける神の臨在の中に逃れることです。それぞれの境遇の中で、神の力はあなたを安全に守ることができます。ぜひ、あなたの心の思い煩い、騒がしさを、神の手にゆだね、癒しと力を神から受け取っていただきたいのです。